学校番号	３０８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「物理基礎」　（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「運動」、「エネルギー」、という２つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？常に意識して、学び考え続けてください。

2　学習の到達目標

基本的な概念や原理・法則を理解する。
物理的な事物・事象についての観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てる。
科学的な自然観を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察・実験などを通して、基本的な概念や，原理・法則を理解し，その概念や原理・法則を活用して幾つかの事象が同一の概念によって説明できる。	自然の事物･現象の中に問題を見いだし，物理学的に探究する過程を通して，事象を物理学的に考察し，基本的な概念･法則を理解するとともに，それらを用いて自ら思考し判断して導き出した考えを的確に表現できる	自然の物理的な事物･現象について関心，探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的な態度を身につけようとしている。また、自然の物理的な事物･現象に関する観察･実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法として身につけ現象を科学的に探究する技能を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物体の運動	運動の表し方 力 運動の法則	a：運動に関する物理学の量的関係と向きに関する関係を理解し、様々な運動の規則性を見つけることができる。 b：運動の向きや速度，加速度などの運動の基礎となる量から，それらを組み合わせて運動を物理学的に理解できる c：様々な運動を，物理的な現象として，動きの規則性やその動きを生じさせている原因を解明しようという意欲が見られる。また、速度，加速度，力を実験器具を使って測定しながら運動を解析し，量的な関係を捉えることができる。	定期考査 授業プリント ノート	定期考査 ワークシート	授業プリント ワークシート
2学期	エネルギー・波	運動とエネルギー 熱とエネルギー 波の性質 音	a：運動，熱について個々の量的関係を理解し，エネルギーの変換と保存についての認識を持つことができる。 b：仕事をする能力について，位置，運動，熱といった一見異なるエネルギー間に換算できる量的法則性を考察し，表現することができる。 c：ものが運ばれるという事実を物理的な現象として捉え，関係性を探ろうとしている。熱と仕事の関係に関心を持ち，熱の本質を探究しようとする意欲が見られる。また、観察の際に，速度や力といった直接測定できる量を組み合わせ，運動エネルギーの新たな量的関係を類推できる。	定期考査 授業プリント ノート	定期考査 ワークシート	授業プリント ワークシート
3学期	電気・人間と物理	電流 電気の利用	a：電気と磁気に関する基本的な法則を系統的に理解し，電磁波の基本的振る舞いについて知識があり，理解できる。 b：電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則について理解できる。系統的に考察したこと	定期考査 授業プリント ノート	定期考査 ワークシート	授業プリント ワークシート

		エネルギーとその利用 物理学が拓く世界	を，表現することができる。 c：電気や磁気の現象が，どのように生じるか，に関心をもち，それらを調べる意欲と態度が見られる。また、電荷の振る舞いについて観察でき，実験を再現できる。グラフ処理などを通して法則性を確認できる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度